

広島県告示第784号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

令和8年6月29日

広島県知事 横 田 美 香

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	広島県広島市中区中町8番6号 株式会社フジタ 東広島事業部長 浜田 剛
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県東広島市八本松町吉川 みずほカントリークラブ総合仮設工事

2 申請の内容

55 生コンクリート製造業の用に供するバッチャープラント1基及び72 し尿処理施設6基を新設する。また、汚水処理施設7基を新設するとともに、排水口7基を新設する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1)新設

種	類	55 生コンクリート製造業の用に供するバッチャープラント (バッチャープラント)
能	力	生産能力 1,000m ³ /日
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに

使用 方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時～19時 混練90sec/回、8～11時間 (季節的変動なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排出される 汚水等の 状態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)	6.0～8.0	5.8～8.6	
		生物化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	15	20
		化学的酸素要求量		20	29
		浮遊物質 量		90	500
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		20 (20)	40 (40)	
汚水等の排出先		濁水処理設備 括弧内は循環利用水量			

(その2)新設

種 類	72 し尿処理施設 (汚水処理施設①)		
	処理能力 200m ³ /日		
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに	
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	工事着手後直ちに	
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	工事完成後直ちに	
使	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		
	0時～24時、24時間 (季節的変動なし)		
	項 目	通 常	最 大
排	水素イオン濃度 (単位:水素指数)	5.8～8.6	5.8～8.6

用 の 方 法	出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	生物化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	10	15
		化学的酸素要求量		10	15
		浮遊物質		20	50
		窒素含有量		10	30
		燐含有量		1	2
		大腸菌数	(単位： CFU/mL)	800 以下	800
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		160	200	
汚水等の排出先		排水口Ⅱ			

(その3)新設

種	類	72 し尿処理施設 (汚水処理施設②)	
能	力	処理能力 200m ³ /日	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに	
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに	
使 用	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	0時～24時、24時間 (季節的変動なし)	
	項	目	最 大
	排	水素イオン濃度 (単位：水素指数)	5.8～8.6

用 の 方 法	出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	生物化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	10	15
		化学的酸素要求量		10	15
		浮遊物質		20	50
		窒素含有量		10	30
		燐含有量		1	2
		大腸菌数	(単位： CFU/mL)	800 以下	800
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		160	200	
汚水等の排出先		排水口 I			

(その4)新設

種	類	72 し尿処理施設 (汚水処理施設③)	
能	力	処理能力 100m ³ /日	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに	
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに	
使 用	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	0時～24時、24時間 (季節的変動なし)	
	項	目	最 大
	排	水素イオン濃度 (単位：水素指数)	5.8～8.6

用 の 方 法	出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	生物化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	10	15
		化学的酸素要求量		10	15
		浮遊物質		20	50
		窒素含有量		10	30
		燐含有量		1	2
		大腸菌数	(単位： CFU/mL)	800以下	800
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		80	100	
汚水等の排出先		排水口 I			

(その5)新設

種	類	72 し尿処理施設 (汚水処理施設④)		
能	力	処理能力 120m ³ /日		
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに		
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに		
使 用	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	0時～24時、24時間 (季節的変動なし)		
	項	目	通常	最大
	排	水素イオン濃度 (単位：水素指数)	5.8～8.6	5.8～8.6

用 の 方 法	出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	生物化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	10	15
		化学的酸素要求量		10	15
		浮遊物質		20	50
		窒素含有量		10	30
		燐含有量		1	2
		大腸菌数	(単位： CFU/mL)	800 以下	800
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		100	120	
汚水等の排出先		排水口Ⅱ			

(その6)新設

種	類	72 し尿処理施設 (汚水処理施設⑤)		
能	力	処理能力 150m ³ /日		
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに		
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに		
使	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	0時～24時、24時間 (季節的変動なし)		
	項	目	通常	最大
用	排	水素イオン濃度 (単位：水素指数)	5.8～8.6	5.8～8.6

の 方 法	出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	生物化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	10	15
		化学的酸素要求量		10	15
		浮遊物質		20	50
		窒素含有量		10	30
		燐含有量		1	2
		大腸菌数	(単位： CFU/mL)	800 以下	800
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		120	150	
汚水等の排出先		排水口Ⅱ			

(その7)新設

種	類	72 し尿処理施設 (汚水処理施設⑥)	
能	力	処理能力 230m ³ /日	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに	
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに	
使 用	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	0時～24時、24時間 (季節的変動なし)	
	項	目	最 大
	排	水素イオン濃度 (単位：水素指数)	5.8～8.6

用 の 方 法	出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	生物化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	10	15
		化学的酸素要求量		10	15
		浮遊物質		20	50
		窒素含有量		10	30
		燐含有量		1	2
		大腸菌数	(単位： CFU/mL)	800 以下	800
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)			180	230
汚水等の排出先			排水口Ⅱ		

(2) 汚水等の処理の方法

(その1)新設

種	類	濁水処理設備				
形	式	濁水処理設備				
能力	(汚水処理)	30m ³ /h				
汚水等の処理方法		凝集沈殿				
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに				
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに				
使	処 理 水	項 目	処 理 前		処 理 後	
			通常	最大	通常	最大

用 の 方 法	前 等 の 汚 染 後 の 状 況	水素イオン濃度 (単位:水素指数)	8	10	6	8	
		生物化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	15	20	15	20
		化学的酸素要求量		20	29	20	29
		浮遊物質質量		90	500	50	90
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)		0	0	0	0	
汚水等の排出先		全量を循環利用するため、系外への排出水は無い					

(その2)新設

種	類	汚水処理施設①					
形	式	合併処理浄化槽 (939人槽)					
能力 (汚水処理)		200m ³ /日					
汚水等の処理方法		膜分離活性汚泥方式					
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに					
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに					
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに					
使 用 の 方 法	処 理 前 の 汚 染 後 の 状 況	項 目	処 理 前		処 理 後		
			通常	最大	通常	最大	
		水素イオン濃度 (単位:水素指数)	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	
		生物化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	150	200	10	15
		化学的酸素要求量		100	120	10	15
		浮遊物質質量		200	250	20	50
		窒素含有量		40	50	10	30
磷含有量	4	5		1	2		

法	大腸菌数	(単位： CFU/mL)	20,000	30,000	800以下	800
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		160	200	160	200
	汚水等の排出先		排水口Ⅱ			

(その3)新設

種	類	汚水処理施設②				
形	式	合併処理浄化槽 (887人槽)				
能力 (汚水処理)		200m ³ /日				
汚水等の処理方法		膜分離活性汚泥方式				
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに				
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに				
使用 前 の 汚 染 後 状 の 況	処 理 水 等 の 処 理 後 状 の 況	項 目	処 理 前		処 理 後	
			通常	最大	通常	最大
		水素イオン濃度 (単位：水素指数)	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6
		生物学的酸素要求量	150	200	10	15
		化学的酸素要求量	100	120	10	15
		浮遊物質濃度 (単位：mg/L)	200	250	20	50
		窒素含有量	40	50	10	30
		リン含有量	4	5	1	2
	大腸菌数	(単位： CFU/mL)	20,000	30,000	800以下	800
法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		160	200	160	200

汚水等の排出先	排水口 I
---------	-------

(その4)新設

種		類	汚水処理施設③			
形		式	合併処理浄化槽 (501人槽)			
能力 (汚水処理)			100m ³ /日			
汚水等の処理方法			膜分離活性汚泥方式			
工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに			
	工事完成予定年月日		工事着手後直ちに			
	使用開始予定年月日		工事完成後直ちに			
使用 の 方 法	処汚 理水 等 の 処 理 後 状 の 況	項 目	処 理 前		処 理 後	
			通 常	最 大	通 常	最 大
	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量		150	200	10	15
	化学的酸素要求量		100	120	10	15
	浮遊物質質量		200	250	20	50
	窒素含有量		40	50	10	30
	磷含有量		4	5	1	2
大腸菌数		(単位: CFU/mL)	20,000	30,000	800以下	800
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)			80	100	80	100
汚水等の排出先			排水口 I			

(その5)新設

種	類	汚水処理施設④					
形	式	合併処理浄化槽（557人槽）					
能力（汚水処理）		120m ³ /日					
汚水等の処理方法		膜分離活性汚泥方式					
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに					
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに					
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに					
使用 の 方 法	処 理 水 等 の 処 理 後 状 の 況	項 目	処 理 前		処 理 後		
			通常	最大	通常	最大	
		水素イオン濃度（単位：水素指数）	5.8～8.6	5.8～8.6	5.8～8.6	5.8～8.6	
		生物化学的酸素要求量	（単位： mg/L）	150	200	10	15
		化学的酸素要求量		100	120	10	15
		浮遊物質質量		200	250	20	50
		窒素含有量		40	50	10	30
		磷含有量		4	5	1	2
		大腸菌数		（単位： CFU/mL）	20,000	30,000	800以下
		排出される汚水等の1日当たりの量 （単位：m ³ ）	100		120	100	120
	汚水等の排出先	排水口Ⅱ					

(その6)新設

種	類	汚水処理施設⑤	
形	式	合併処理浄化槽（717人槽）	
能力（汚水処理）		150m ³ /日	

汚水等の処理方法		膜分離活性汚泥方式					
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに					
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに					
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに					
使用の仕方	処汚理水等の処汚理染後状の況	項目	処 理 前		処 理 後		
			通常	最大	通常	最大	
	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	
	生物化学的酸素要求量		150	200	10	15	
	化学的酸素要求量		100	120	10	15	
	浮遊物質		(単位: mg/L)	200	250	20	50
	窒素含有量			40	50	10	30
	磷含有量			4	5	1	2
	大腸菌数			(単位: CFU/mL)	20,000	30,000	800以下
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		120		150	120	150
汚水等の排出先		排水口Ⅱ					

(その7)新設

種	類	汚水処理施設⑥
形	式	合併処理浄化槽 (1,550人槽)
能力 (汚水処理)		230m ³ /日
汚水等の処理方法		膜分離活性汚泥方式
工期	工事着手予定年月日	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	工事着手後直ちに

等	使用開始予定年月日		工事完成後直ちに			
	使用 の 方 法	処 理 水 等 の 汚 染 後 状 の 況	処 理 前		処 理 後	
項 目			通 常	最 大	通 常	最 大
		水素イオン濃度 (単位：水素指数)	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6
		生物化学的酸素要求量	150	200	10	15
		化学的酸素要求量	100	120	10	15
		浮遊物質 量	200	250	20	50
		窒素含有 量	40	50	10	30
		磷含有 量	4	5	1	2
		大腸菌 数	20,000	30,000	800以下	800
		排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	180	230	180	230
		汚水等の排出先	排水口Ⅱ			

(3) 排出水の汚染状態

(その1)新設

排水口名	項 目	通 常	最 大
排水口Ⅰ	水素イオン濃度 (単位：水素指数)	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量	10	15
	化学的酸素要求量	10	15
	浮遊物質 量	20	50
	窒素含有 量	10	30

	燐含有量		1	2
	大腸菌数	(単位： CFU/mL)	800以下	800
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		240	300

(その2)新設

排水口名	項目	通常	最大
排水口II	水素イオン濃度 (単位：水素指数)	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	10
	化学的酸素要求量		10
	浮遊物質		20
	窒素含有量		11.1
	燐含有量		1.1
	大腸菌数		(単位： CFU/mL)
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		590

(その3)新設

排水口名	項目	通常	最大
排水口III	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	0	0

・IV ・V ・VI ・VII	その他参考となるべき事項	雨水のみ
--------------------------	--------------	------

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧方法

(1) 縦覧期間

令和8年6月29日（月）から令和8年7月21日（火）まで

(2) 縦覧方法

書面の縦覧場所 広島県環境県民局環境保全課及び西部東厚生環境事務所環境管理課並びに東広島市生活衛生課

インターネット <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/juuran-seto.html>